

季節の不調

かぜ

日本人は1年間に平均6回はひいているという「かぜ」。馴染み深いけれど、では「かぜって何」と聞かれると、返事に困りますね。鼻水が止まらない、のどが痛くてたまらない、高熱がでる、くしゃみがでる…具合が悪ければ、この季節「かぜ」になってしまいます。

・かぜにはさまざまな症状がある

くしゃみ、鼻水、鼻づまり、のどの痛み、せき、たん、発熱、だるさ、頭痛などの症状の総合をかぜと呼びます。つまり、鼻炎、咽頭炎、喉頭炎、気管支炎などの症状を総合して「かぜ」と呼ぶわけです。

・かぜは伝染病

かぜの症状は、かぜの原因となるウイルスが、鼻のど 気管 気管支 肺にいたる呼吸器系の粘膜のどこかにとりついて増殖を始めることで起こる、伝染病です。

・医者にかかるタイミング

かぜを引いたとき、どうしますか？「家で寝ている」…たいていのかぜはそれで治まるので間違いではありません。でも、それにも限界があります。症状によっては、医師の治療を受けることも大切です。次のような人はチャートにこだわらずに最初から医師の治療を受けた方がいいでしょう。慢性気管支炎、気管支ぜんそく、肺気腫などの慢性呼吸器疾患のある人 心臓弁膜症などの慢性心疾患のある人 糖尿病の人 老人や妊娠している人 乳幼児

